

第20回 ITS世界会議東京2013が開催されました

トヨタさんは「スマートモビリティ社会」実現に向けた取り組みや新技術を紹介

世界のITS(高度道路交通システム)の有識者、学者、政府関係者、関係企業が一堂に会し、研究発表、プレゼンテーション、展示、実地デモなどを通じて情報交換やビジネス機会の創出を図る国際イベント「ITS世界会議」が毎年アジア太平洋、ヨーロッパ、アメリカの3極の持ちまわり方式で開催されています。

その節目となる第20回目のITS世界会議が、65の国や地域から、会議登録者3,940人を迎えて、10月14日～18日の5日間、東京で開催されました。この日本での開催は1995年の横浜、2004年の名古屋に続く3度目となりました。

今回のITS世界会議は次世代モビリティを形作る新たなステージに向けた『Open ITS to the Next』を開催コンセプトに掲げて、10月14日に東京国際フォーラムでの開会式、続く15日～18日は東京ビッグサイトでのセッション(会議)やデモ体験試乗、展示会等、様々なイベントが行われました。また、10月17日～18日は一般にも公開されたことから、20,691人(主催者発表)と、当初目標8,000人を大幅に超える参加・来場者を迎えて大盛況の内に閉幕しました。



トヨタさんの展示ブース(正面から)



いい町・いい社会のイメージ(紹介ボード)

今回参加した自動車メーカーをはじめ、自動車部品・電機・情報通信サービスなど様々な企業の中でトヨタ自動車さんは交通事故・渋滞削減を目指す「協調型ITS」の分野で「高度運転支援・自動運転」などの業界をリードする新技術を、デモによる体験試乗やシミュレーターを活用した展示紹介により大勢の注目を集めていました。

また更には、「次世代テレマティクス」や「次世代都市交通システム」、PHVを中心にした「エネルギー管理」なども展示され、トヨタさんの目指す「いい町・いい社会」(スマートモビリティ社会)の実現に向けた取り組みや新しい技術が紹介されました。



自動運転支援システムの説明動画



協調型ITSの紹介



ドライブ・シュミレート



次世代テレマティクス



次世代都市交通システム



エネルギー管理